



貴重なご意見 ありがとうございます。



○フェリー客室フロアに、大きな荷物や重い荷物を積んだ手押しの台車や、荷物を混載したワゴン式カート等の持ち込みはできますか。	フェリー客室フロアに大きな荷物や重量物を積んだ台車や、多数の荷物を混載したワゴン式カート等のお持込みは、船内スペースや安全上の問題もありお断わりしております。フェリーの場合は受託手荷物(有料)でもお受けできますので、乗船券購入時に早めに窓口にお申し出下さい。この他、貨物運送(有料)の扱いもありますが、事前にご利用営業所の荷物受付時間までに手続きが必要になりますので乗船港の営業所にお問合せ下さい。
○フェリーのキャリーバッグ等荷物持込時のお願いについて。	フェリー客室やエントランスの混み具合、また途中寄港地や予約等の状況によって、キャリーバッグ等の置き場所のご案内・お願いをさせて頂く場合がありますのでご協力をお願い致します。客室内のカーペットはお客様がお座りになる場所ですので、キャリーバッグ(スーツケース)はカーペットの上を転がさないようにお願いします。船内案内所ではキャスターにおつけ頂く簡易的なカバーも置いてございますのでご入用の方は船内案内所までお申し出下さい。 尚、「フェリーくにが」エントランス(船内案内所前)に、試験的にキャリーバッグの収納棚を新たに設置いたしました。
○キャリーバッグ等、荷物のお取り間違いに御注意下さい。	最近、船内でキャリーバッグなど荷物のお取り間違いが発生しております。特にキャリーバッグなどは類似した物や全く同じ物もございますので、下船時には必ずお荷物をご確認下さいますようお願いいたします。また荷物のお取り間違い防止のため、乗船港及びフェリー船内に置いてあります簡易的な名札シールもご利用することができますのでお申し出ください。
○キッズスペースを利用したいのですが、お子さん連れで、運航中ずっと横になっている保護者の方がおられ、他の者が利用できないことがあります。	キッズスペースは各フェリーの1等客室前側に設置しており、6歳以下のお子様と保護者の方にご利用いただいております。キッズスペースは一般の大人の方が航海中に横になってお過ごし頂くお部屋ではなく、お子様連れのお客様に一時的にご利用頂く施設です。限られたスペースですが、他にもご利用されるお子様もおられますのでご配慮をお願いします。 掲示してある「ご利用にあたってのお願い」をご一読のうえご協力をお願いします。 尚、海上時化の場合にはご使用できない場合がありますのでご了承下さい。
○フェリー船内に掲示物が多すぎて美観を損ねている気がします。どうにかなりませんか。	船内外には、まず運航の安全上必要な掲示物、次にお客様へのご案内用の掲示物を優先して掲出しています。加えて監督官庁、他行政からの要請を受けて掲出する掲示物があります。個別の営業やPR・広告に関する掲示物はお受けしておりません。限られたスペースの中で掲示物が極力美観を損なわないように配慮してまいります。
○欠航はどのように決まるのですか。 また欠航の情報はどのように周知されますか。	安全管理規程に基づき、波高、風向、風速、港内の状況、今後の見込等々から総合的に判断し決定しています。尚、悪天候時の出欠航の判断は、基本的には出港の1時間前までとしておりますが、お客様のご負担やご迷惑にならないよう、可能な限り早めに決定し、ホームページ上や各関係機関（行政、連絡バス、タクシー会社、空港、宿泊施設等）にも周知連絡をしております。また隠岐島内へは各町村役場の防災無線にて情報の周知をお願いしております。
○フェリーのドック(入渠)は例年は3隻とも1月～2月、近年では3月上旬迄に実施していましたが、令和6年には1隻が12月中にドックしたのは何故ですか。	フェリーは毎年造船所にドック(入渠)し点検整備をしています。令和5年までは山口県の造船所の一社にフェリー3隻ともドックし1月～3月上旬にかけて実施していましたが、造船所の都合により令和6年には当該造船所は1隻のみで、以降はドックを受けてもらえなくなりました。こうした事態を受け令和4年頃から他の造船所と交渉を重ねてまいりました。各社・旅客船のドック整備は毎年1月～2月に集中しており船台がなかなか確保できない状況の中、何とか造船所2社を確保し調整をしてまいりましたが、フェリー3隻の内1隻については12月上旬のドックとなりました。
○隠岐汽船は、一緒に働いて頂ける船員さんを募集しています。 (正規職員)	船の仕事は、甲板部・機関部・事務部の3つの部所に分かれており、船舶の運航や、車両・荷物の積み降ろし、機関等の稼働や保全、そして船員の食事作りや客室等ではお客様のご対応などの仕事があります。 本土と隠岐島四島間を結び、旅客(島民・ビジネス客・帰省客・観光客等)、車両(乗用車・貨物車・大型トラック・工事車両等)、貨物(新聞・郵便・生活物資・医薬品等)をお運びする海上の交通機関です。 重要な隠岐航路を継承し、隠岐島民の生活に直結する会社です。 一緒に働いてみませんか。詳しくはホームページをご覧ください。🏠 

